

ひまわり



令和3年2月1日(月)

「鬼は外 福は内」



早くも如月。日の出が早くなり、日の入りは遅くなってきました。日の出ている時間が長くなることを「日脚が伸びる」と言います。「日脚伸ぶ」という冬の終わりの季語もあります。

『日脚伸ぶ 夕空 紺をとりもどし』（皆吉爽雨）
とても美しい俳句だと思います。まさしく、この句

のような情景が見られる季節となりました。

明日は節分、明後日は立春です。立春は暦の上での春の始まりです。皆さん
が生まれてから、節分は毎年2月3日でしたが、今年は2月2日となります。
これは、明治30年（1897年）2月2日以来124年ぶりのことです。このよう
なことが起こる原因是、1年の日数を通常365日と数えているのに、地球の
公転周期が365.2422日（約365日と6時間）であるためです。詳しく知り
たい人は、いつでも質問してください。

節分の風習といえば豆まき。「鬼は外 福は内」のかけ声とともに豆をまき、
年の数だけ豆を食べ、家内安全や無病息災を願います。また、私が子どもの頃
は、焼いた鰯の頭を指した柊の枝を玄関の外に取り付けていました。これは、
柊の葉のとげが鬼の目を刺し、鰯の頭のように臭いものは魔除けになると考え
られていたからです。最近では、豆まきの風習もしだいになくなってきたよう
に思います。柊 鰯も見かけることはなくなりました。

先日、幼稚園の先生から、今年多くの幼稚園で「豆まき」をすると聞きました。
それは、日本の伝統文化を大切にし、それを後世に引き継ぐためだと言
います。（衛生面を考慮して豆を食べることはないそうです。）どこの国でも、
伝統行事には意味があり、先人の思いや智恵がそこにはあります。だからこそ、
大切にしなければならないのです。

コロナという鬼はまだ手強い相手ですが、ワクチンという福の神がまもなく
やってきます。それまではもう少しのがまん。「鬼は外 福は内」

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開して
います。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索

